



スタッフのつぶやき

皆さま、いつもご愛読ありがとうございます。開発担当の原田です。

先日、久しぶりに全国的な大雪となり各地で大変な状況だったようですね。

弊社でも翌朝はJR沿線の社員は運休で出社できずリモートワーク、私鉄沿線の社員は出社できたので会社で仕事するという事になりました。

私も雪の中を転ばないように慎重に歩いていきましたが普段の通勤経路が別世界のようで不思議な気分でした。

約半数の社員が出社できない状況でも問題無く業務を行なえたのはコロナ禍前より積極的にリモートワークに取り組んできたおかげかと思います。(お客様先へのご訪問等はさすがに無理だったようですが…)

普段からの備えがいざという時に役立ったということでしょうか。

弊社では業務システムの導入時に必要に応じてVPNもご提案させて頂いており複数拠点間のプライベートネットワーク構築やテレワークへの対応も可能となります。この機会にご検討頂ければと思います。(システム開発部 原田 剛史)



IT雑情報

【Windows 8、Office 2013 のサポート終了】

このコーナーではITに関わるいろいろな情報をお届けします。

2012年10月26日より提供されていたWindows 8と2013年10月18日より提供されていたWindows 8.1のサポートが2023年1月10日で終了しており、同様にOffice 2013のサポートも2023年4月11日に終了することが発表されました。

『終了するとどうなるの?』というご質問がちらほらありますので簡単に説明させていただこうと思いますが…

その前に自分が使っているバージョンは何なのか分からない!という方に簡単に調べる方法をお伝え致します。

Windows の Ver 確認方法

- ① Windows キー (ロゴマーク)+R を押す。
- ② 入力ボックスに「winver」と入力し【OK】を押す。
→これで簡単に現在お使いのPCのWindowsのバージョンが確認出来ます。

Office の Ver 確認方法

- ① Word や Excel など立ち上げる。
- ② 上部タブのファイルを選択。
- ③ 左下に表示されている【アカウント】をクリック。
→表示されるウィンドウにある『ライセンス認証された製品』の下に記載されているのがご利用中のOfficeです。

続いて、本題の『サポートが終了したらどうなるの?』というお話ですが簡単にお伝えすると「操作方法などの問い合わせにも答えられなくなるし、今後新しいウイルスが見つかったとしても修正や対策は一切行わないよ!」ということです。

『でもウチはセキュリティソフト入れてるし大丈夫やろ!』

いえいえ! そうではないんです!

ウイルスは日々進化をしておりセキュリティソフトだけでは対策が十分ではありません。例えるならば、「城門の前に屈強な衛兵を配置しているけど、城壁を作る人が居なくなりボロボロの城壁でなんとか形を保っているお城」といったところでしょうか。大げさかもしれませんが、いつ攻め込まれてもおかしくない状態にあるのです。

『ではどうすれば…?』

Windows の場合

Windows 11 対応のPCを購入する、もしくはWindows 10のライセンスを購入する。
(ただWindows 10もVer 21H1は2022年12月13日に既にサポートが終了していますし、2025年10月には完全にサポートが終了することも発表されています。)

Office の場合

Microsoftの公式サイトから買い切りのOffice Personal 2021を購入するか、月額or年額払いのOffice 365を契約する方法でアップグレードを行ってください。

TOPICS

IT 導入補助金 2023 も、インボイス対応を支援します

来年度のIT導入補助金2023は、今年度とほぼ同じ内容で、3月下旬もしくは4月上旬から公募が始まります。

インボイス対応のための申請枠(デジタル化基盤導入類型)は、

- ◆ 補助金の下限がなくなりました。(安価なシステム導入も可能です)
- ◆ 今年度と同じく、補助金の額が50万円までは補助率3/4、50万円超～350万円までは補助率2/3です。
- ◆ ソフトと同時購入のパソコンも、補助率1/2で10万円まで補助されます。

Presented by Sys:port corp.

読者 訪問



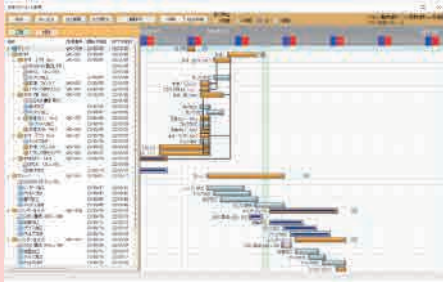
第157回

お伺いした会社 株式会社デジック
お話を伺った方 代表取締役会長 上野 雅弘 様、代表取締役社長 倉田 慎介 様
会社の所在地 〒581-0053 大阪府八尾市竹湊東 1 丁目 209 番地
電話番号 TEL 06-6790-8585(代) FAX 06-6790-4611
事業内容 生産管理システムの開発販売、バルブ用パッキンの製造販売
ホームページ <http://www.digic.org/>

今年1月に社長を交代された(株)デジックさんにお伺いしました。同社とのお付き合いは20年ほど前に遡ります。同社はもともと製造業を営んでおられたのですが、CAD・CAMシステムの取扱いなどを経て自社用に生産管理ソフトを開発されました。その生産管理ソフトをパッケージ化して他社にも販売していこうと考えられ、ソフトのパッケージ化とその後の販売戦略などのアドバイスを求めて当時の大阪産業振興機構に相談されたところ、登録アドバイザーの中からパッケージソフトの開発販売を手掛けているシスポートの米田が目にとまり、専門家派遣制度に基づいて同社にお伺いしたのが上野社長(当時)との出会いでした。そして、試行錯誤を何度か繰り返しながら生産管理ソフトのパッケージ化を進め、15年ほど前に Assist シリーズが誕生しました。



上野会長と倉田新社長



Assist 生産工程のスケジュール管理画面



現場での進捗管理入力

“町工場が作った現場主導型生産管理システム”として

現在150社を超える製造業に導入されており、中小製造業の現場にフィットした生産管理システムとして当社も Assist シリーズを取り扱わせていただいております。

上野会長とは20年来のお付き合いとなるのですが、この度見事に事業承継を果たされました。

上野会長は還暦を迎えられた7年ほど前、ぼちぼち事業承継のことも考えないと……と思っておられたそうです。そんな矢先、入院を要する大病に罹られました。それ以前にも倉田氏には将来の話などをされていたようですが、それをきっかけに本人の意思も確認しながら本格的に事業承継を進められました。

上野会長には娘さんが3人いらっしゃるのですが、それぞれ自社の事業には関わっておられないので、事業承継はまったく考えなかったとおっしゃいます。後継者は社内から考える中、2008年にプログラマーとして入社した倉田氏に注目されます。プログラマーとして入社したにもかかわらず営業的なことにも関心を持ち、徐々にマネージャーとしての頭角を現します。

社長室長から統括部長に、兼務役員～専任役員～専務取締役と6年ほどかけて社内環境を整えてこられました。そして今年1月、代表取締役社長に就任されました。

上野氏は代表取締役会長となり二人代表制でしばらくは経営にあたられるとのこと。

倉田社長は上野会長が病気になられたとき、自分がしっかりとしなければならないと思ったとおっしゃってました。まだその時点でははっきりと後継者に決まっていたわけでは

ありませんでしたが、自分がやらなければという意識はお持ちだったようです。

社長になってまだあまりプレッシャーは感じないとおっしゃっていましたが、社員を大事になさっていた上野会長の人柄を忘れないように、自分が主体ではなく社員が主体で居心地がいい会社を目指したいとおっしゃっていました。

「まだまだ実感が湧かないがこれからきっと厳しいことが一杯出てくると思う。上野会長に受けた恩を忘れないように、社員の気持ちが分かる社長になって頑張っていきたい」と熱く語っておられました。

後継者難で廃業したり M&A したりする会社も少なくない中、血縁関係でない社員への承継をうまくおやりになったデジックさんを見習わねばと思いつながら、新社長の活躍と会社の発展を祈念しながら帰路につきました。(米田)



いっちょかみ

“一丁啣”が行く!

第169回:うめきた新駅の世界初技術

JR西日本では特急「はるか」や「くろしお」が梅田貨物線を通って大阪駅を通過しているのを解決しようと、梅田貨物線を地下化して新たに大阪駅の地下駅(通称:うめきた新駅)を作り3月18日(土)に開業することになりました。そしてこのうめきた新駅には2つのITを駆使した世界初の設備が設けられます。ひとつは「デジタル可変サイン」というやつで、個人向けの案内板「One to One」と名付けられています。スマホアプリで目的地を設定すると、ビーコンの電波で位置を認識し、ディスプレイにその人向けにカスタマイズされた案内を表示するというものです。案内は同時に3人分が表示可能で、アプリ上で設定した自分専用のアイコンとともに表示されるのだそうです。

もう一つは、列車の扉数に合わせて動く新型のホームドアです。東海道線では4ドア車両、3ドア車両、2ドア、1ドアの特急車両が混合して走っています。ですのでホームドアの設置が難しかったのですが、新型フルスクリーンホームドアは、上部(鴨居=かもい)からつり下げた「親扉」が、敷居に沿って左右に移動するとともに、両側から「子扉」を出し入れて自在に開口部を作る仕組み、すなわちふすまのようなイメージで開口部を可変にするというものです。いずれもITの発達と共に開発された新技術です。新駅が開業したら是非見に行きたいと思っています。(一丁啣)

編集後記 月日が経つのが早い!と感じているのは私だけでしょうか。何故か近年はあっという間に時間が経過しているように思います。もう気がつけば3月。一般的には年度末という感じですが、なんとなく慌ただしさを感じてしまいます。4月からは新学期。心機一転、新しいことでもはじめようかと思うもののきつとまた気がつけば年末になってしまって…、となるかも知れません。